

NPO法人もりふれ倶楽部では、令和3年6月2日（水）海士町立福井小学校5・6年生16名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の話とネイチャーゲーム」・「和紙作り」の指導を行いました。

「和紙作り」



タブノキの葉の粘着性を利用したネリ（繊維を繊維を絡める役割）の話の後、タブノキの葉の裁断をしてもらい、水と攪拌してできたネリの感触を確かめてもらいました。また間伐材の甘皮の裁断と繊維の潰しの作業後、ネリと間伐材の繊維と水を攪拌し漉き液を作りました。漉き液を漉き器で漉き、アイロンで乾かす作業をしてもらいました。最後の和紙のできる木の話をしました。

「森のお話」



森の名手・名人の響繁則氏の森との関りの話を通して、切って、使って、植えて、育てていくことの大切さ、必要性の話をしました。

「ネイチャーゲーム」



自然への関心を持ってもらうため、自然物を素材としたネイチャーゲームを行いました。最後に結果をみんなで共有しあいました。